

令和3年度総合計画推進委員会審議結果

1 第5期総合計画重点施策

重点項目1

【農商工観連携の推進】

- 豆味噌（音更町物産協会が開発主体となって開発した音更産の大袖振大豆を使用し、軽米町の地味噌の作り方で作った味噌）を町の予算を使ってPRしてはどうか。

重点項目2

【循環型社会づくりの推進】

- 役場が温室効果ガスの排出量削減のために行っているノーカーデーなどの取組について、積極的に町民に対して発信することで町民全体の意識も変化するのではないか。

【交流人口の増加に向けた観光振興事業の推進】

- 観光入込客数の目標設定について、現状維持に近い目標ではなく、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光協会が復興するためにはどの程度利益が必要か等を想定して目標設定すべきではないか。
- 観光施設利用者との意見交換について、モニター制度等を活用し、町民参加を取り入れた方法で行ってみたい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が落ち込んだ観光業界に対して、商工観光課は商品券や宿泊券の発行など精一杯支援したと思う。来年も頑張っていたきたい。
- 商工観光課では、新型コロナウイルス感染症の影響で失業した方の状況をアンケートやハローワークとの情報共有を通じて把握しているほか、雇用支援金制度を実施している。社会福祉協議会においても、緊急時における資金貸付制度の利用件数が重複を含め約600件であり、引き続き失業者やシフトを減らされた従業員などを町が可能な限り把握し、支援ができる体制をとっていただきたい。

重点項目 3

【防災対策の充実】

- 避難所における感染症対策をしっかりと行っていただきたい。また、女性や子どもに対するプライバシーの関係や授乳中の方への配慮が十分にされた避難体制の整備をお願いする。
- 胆振東部地震の際、厚真町、安平町、むかわ町の3町と北広島市や札幌市なども建物に被害がでた。罹災証明書を発行する際は必ず住家被害認定を行わなければならない、自治体職員のほか建築士会、土地家屋調査士会、不動産鑑定士協会等の協力のもと対応することとなるが、災害発生時は急な対応を迫られることから、協定までは結ばないにしろ、事前に連携方法について確認しておくことが重要かと思う。
- 液体ミルク、粉ミルク、アルファ米、哺乳瓶等は、全て消費期限や使用期限前に関係部署を通じて町民に配布、または自主防災組織、訓練、出前防災講座で試食用として提供されている。引き続き必要とする方に行き届くよう進めていただきたい。
- 「耐震改修促進事業費」において、旧耐震基準に基づく民間の個人住宅等が耐震調査を行う場合に補助を行っているが、それほど利用は進んでいない状況である。個人住宅にあっても積極的に耐震化を行ってもらえるよう制度の周知を含め、施策を進める必要がある。
- コロナの収束後は十勝川温泉の外国人観光客数が増加することが見込まれるため、外国語表記によるハザードマップなどの防災関連資料があると安心かと思う。作成を検討していただきたい。

重点項目 4

【教育環境の整備】

- GIGAスクール構想推進事業によるICTの活用にあたっては、個人情報情報の漏えいがないようセキュリティ対策を徹底していただきたい。

重点項目 5

【保育サービスの充実】

- 働き方改革の影響で育休の延長などが可能となったことから、保育所の待機児童数が減少した。

重点項目 6

【在宅・施設サービスの充実】

- 高齢者の介護の悩み事や生活の困り事などについての相談先がわからず、社会福祉協議会へ問い合わせる方が少なくないため、地域包括支援センターの周知方法を工夫していただきたい。困っている方がいるということを頭の隅に置いて対応していただきたい。
- 小規模介護施設における災害時の支援体制について、施設入所者は避難所に避難することになるが、介護が必要な方がいるため危機対策課や施設関係者と相談し、支援体制を整えていかなければならない。
- 介護施設に入所待ちの人が多くいる状況であるが、希望する施設に入れない場合でも、様々な種類の施設があるため、相談の上、個々のケースに合った施設に入所してもらうことで介護者の苦労を軽減する必要がある。
- 高齢者の介護当事者になって初めて知ることが多いので、広報などで介護に関する情報を周知していただくとありがたい。
- 役場からの通知が高齢者には難しいと感じた。よくある事例などを通知に記載するなどして、高齢者でもわかるような工夫をしていただくとありがたい。

重点項目 7

【ホームページの充実、インターネットの活用】

- 町内会に未加入でホームページも見ることができない町民に対して、広報紙を選挙公報のようなポスティング方法で配布してはどうか。
- 災害時に多くの町民がホームページを見られる。G o o g l eの翻訳エンジンではなく、外国語でホームページを作成することで、日本語がわからない人も災害時に避難先や支援が詳しくわかると思うので、検討していただきたい。

2 音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略

【本町の強みを活かした産業の振興】

※ 上述の **重点項目 1** **【農商工観連携の推進】** に記載の意見に同じ。

【安全・安心なまちづくりの推進】

※ 上述の **重点項目 3** **【危機対策の充実】** に記載の意見に同じ。

【出産と子育てを支援する環境づくり】

- 令和元年度から3歳以上の保育料無償化が実施されたことから、保育料軽減事業における令和2年度の児童数は例年と比較し大幅に減少した。

3 その他の意見

- 評価の基準が曖昧なので、次年度以降は数値的な基準を設けられるものは設定した方がよい。評価が低いから悪いということではなく、力を入れて取り組む必要がある部分を明確にすることが施策を推進する上で重要である。
- 指標について、費用を要するものは費用対効果を考えるべきである。また、現状がどの程度変わったのか、どのようなメリットが増えたのかがわかるような目標設定にすべき。
- 総合計画推進委員会の開催方法について、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、オンラインでの実施を検討してはどうか。